



かけはし

令和元年11月1日

ふるさと智恵文に誇りをもつ輝く智小っ子を「地域ぐるみ」で育てましょう

令和元年度,中間の振り返り

校長 橋 早智子

秋も深まり,朝晩の冷え込みが厳しくなりました。

10月8日に実施しました「名寄市へき地複式教育研究大会」は,伊東学校運営協議会長様を始め上川教育局,名寄市教育委員会,智恵文小中学校PTA,及び本大会で公開しました授業への協力者の皆様を来賓としてお招きし,また,市内小中学校の教員の参加を得て,充実したものとなりました。

令和2年度から本格的に実施されます新学習指導要領に則って,新しい教育活動を進めるための大きな一歩となりました。

今智恵文小学校では,地域の自然や人材を教材化し,教科と領域活動(総合的な学習・特別活動)の教育課程の中への位置付けを進めています。もちろん,教科の中では評価を行いますので,国の規準に沿って適切な内容となるよう,関係機関の指導を受けながら進めているところです。これらを進めるにあたって,コミュニティー・スクールのシステムから厚い学校支援を頂けることに教職員一同心より感謝申し上げます。

さて,ご報告が大変遅くなりましたが,7月に児童・保護者・教職員から回答を得て集計・分析・考察を行いました,学校評価の中間報告を致します。

調査内容は19項目ありました。その中で児童・保護者・教職員ともに評価基準値を下回ったものは以下の4項目です。後期はそちらを重点的に改善を進めてまいります。また教職員の評価が低かった項目については学校力向上の視点で取り組んでまいります。



・児童は,いじめや仲間はずれはどんな場合でも許されないと思っていますか。

→日常的な観察や校内巡視を通じて対応を共有しながら継続的に指導を進める。

・児童は進んで家庭学習に取り組んでいますか。→児童の力に応じた問題に取り組ませる。

・児童は読書に興味をもち,進んで本を読んでいますか。→読書規準を設ける(2学期は10冊)

・児童は,目標に向かって日常的に運動に取り組んでいますか。

→体育授業を改善し,定期的に体力・運動能力を測定して児童に還元しアドバイスする。

もう一点,本校の教育活動を皆様にお伝えする手立てとしてホームページへの掲載事項を増やしました。携帯電話からもご覧いただけるようになっております。ご一見いただくと幸いです。